

『学校経営の成果は子どもの姿に』

この3月、小学校と中学校の卒業式に出席しました。いずれの卒業式も子どもたちがこれまでの成長を支えてくれた人たちへの感謝の気持ちを表していることに感動させられました。そして、これからの新しい生活に向けての決意を抱いていることがうかがえました。

また、卒業生を送る側の在校生の子どもたちも先輩の門出を祝おうとする雰囲気にあふれ、実に素晴らしい卒業式であったといえます。さぞかし、それまで通った学校を巣立っていく卒業生にとっては、一生忘れられない思い出の一場面となったことでしょう。私自信も卒業式に出席してよかったなあという思いでいっぱいになりました。

学校教育の成果は、何といっても子どもたちの成長の姿に現れます。学校が大好きな子ども、先生方との触れ合いが大好きな子ども、学校で勉強することや学校行事に意欲を見せる子どもといった学校に通うこと、学校で生活することが本当に楽しいと思う子どもを育てることは学校の一つの役割です。

学校を訪問するたびに、見らさることはその学校の子どもたちの表情です。元気に挨拶することや友達と明るく接し合う様子や授業中の表情です。その点においては、江差町内の子どもたちは、実に表情豊かで、挨拶もはきはきして、授業中の表情も明るく、活気に満ちた子どもたちが多く感じています。このことは、校長先生をはじめ先生方の日頃からの努力の賜物と受け止めています。全国学力・学習状況調査の結果からも、江差の子どもたちが先生方を信頼しているといった回答や先生はわかるまで丁寧に教えてくれるという回答がとても多く、全国平均の数値よりも高くなっています。

このことは、これまでの学校の体制づくりが間違っていなかったことを表しています。校長先生を中心とした学校運営が正しく行われ、その継続性が図られてきたことによります。校長先生の経営方針が学校全体に行き渡り、学校職員が一枚岩となって子どもたちの教育にあたるということが当たり前とされる学校でなければ成し遂げられないことです。つまり組織としての学校が機能しているということになります。もし、一部の職員が組織体であることに異を唱え個人プレーを当然のこととしていたら、学校が目指す方向に揺らぎが生じます。先生によって子どもたちへの指導がバラバラだったら、当然子どもたちは誰の言うことを信じてよいのか戸惑いを見せ、子どもたちのまとまりも失せてしまいます。最も被害を被るのは何といっても、その学校の子どもたちです。外部からの学校の信頼も

失ってしまうことでしょう。

実際にそのような事例はこれまで多々ありました。学校組織としての機能が損なわれてしまった学校においては、子どもが問題行動を起こしてしまっても、その対応に教職員の温度差があるために、学校としての指導の統一性が図られず問題は解決するどころかより深刻さが増すばかりといった学校もありました。そのような学校での最高学年の子どもたちの様子を見ると実態がよくわかるということがありました。一部の先生の言うことはきくが、それ以外の先生の指導は無視するといった子どもたちが育ってしまった学校の様子を見たこともあります。そのような学校に赴任した校長が徹底して行った改善策は、物を壊したり、壁に穴をあけたり、ガラスを割ったりなどした子どもをそのままにしないということでした。保護者に事実を伝え、責任を負ってもらうことを徹底しました。子どもが「イライラしたから」「カッとなって」「誰かに何か言われ面白くないから」などという理由はいっさい受け付けませんでした。自分でやったことはきっちりと責任をとってもらうという指導を徹底したのです。また、先生方には、絶対に見て見ぬふりをせず、その場で機を逃さない毅然とした指導の徹底を図りました。どの先生も同じ方向性を示すことの重要性を説いたのです。それから荒れている最高学年と下級の学年の子どもたちとの触れ合いの場を遮断したのです。本来の学校のあるべき姿ではないのですが、上の学年の子どもたちの行動は常に下の学年の子どもの手本となります。よい手本ならよいのですが、よくない手本もいつの間にか伝承されてしまいます。その校長先生はそのことに警鐘を鳴らし、改善が見られるまでそのことを徹底しました。その結果、学校の荒れが収まるまでに4か月ほどかかりましたが、子どもたちの生活態度はガラリと変わりました。「駄目なことは駄目なのです」という指導の徹底を全職員が足並み揃えて取り組んだ成果が出たのでした。この4か月という期間が長いか短いのかは特に判断の基準はありませんが、徹底するということがなければ、1年たっても、2年たっても何も変わらないことも考えられません。

これからも江差の各学校においては、先生方が一丸となってこれまで培ったよき学校風土を継承し、礼儀正しい、粘り強い、キラキラと目が輝いている子どもたちを育ててほしいと切に願います。